

◎6月10日(日)開催 第3029回例会  
**兵庫県山岳連盟創立70周年記念企画同調**  
**「幻の徳川道(全行程)を歩く・そのⅢ」を**  
**無事終えて**



会長 吉野 宏

兵庫県山岳連盟/普及委員会委員長

平成30年6月10日(日)、兵岳連創立70周年記念企画「幻の徳川道全行程を歩く・そのⅢ(総合運動公園から西国街道大蔵谷起点まで)」を無事終え、徳川道全行程踏破を成し得た。



総合運動公園駅山側で出発前に神木先生のお話し

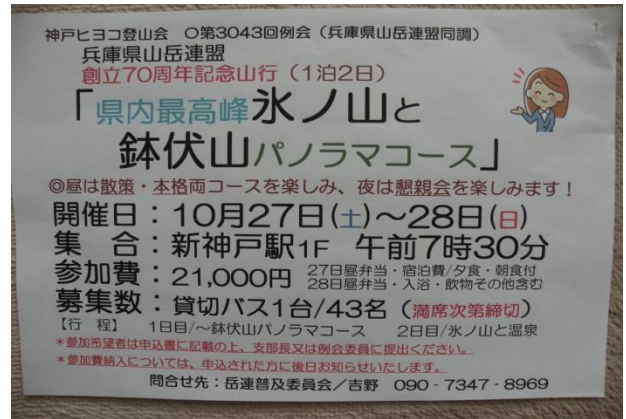
4月8日(日)「そのⅠ・(東の起点/石屋川から市立森林植物園まで)」が最初のスタートで、5月13日(日)荒天の中強行した「そのⅡ・前半コース(植物園から西鈴蘭台まで)で降雨のため中止とした。そして、続きを6月9日(土)「そのⅡ・後半コース(西鈴蘭台～総合運動公園まで)」を歩き、その翌日最終コース「そのⅢ・(総合運動公園から西の起点まで)」を行って、全踏破を終えることが出来た。参加頂いた方は合計168名、平均56名の皆様にご協力頂いたことになる。参加者の大半がヒヨコの会員であり、多大なご協力を頂いたことに対し紙面をお借りし御礼申し上げたい。

.....

思えば平成18年「のじぎく兵庫国体」のお手伝いをしたきっかけから翌年、兵岳連の常任理事を仰せつかり、早11年余りの歳月を経た。創立60周年の年(平成20年/2008年)、いきなり記念行事(登山)の企画等を任せられ、頭

を痛めたのがつい昨日の様である。記念登山として企画した「紅葉を訪ねて・瀬川山と氷ノ山1泊2日」はバス1台44名の参加を得、記念登山Ⅱと位置付けた「第50回六甲合同記念登山・最高峰に集まろう!」には、なんと246名もの方に参加して頂いた。

一番多くの会員を擁する加盟団体として、今日までの諸行事に多大の協力をしてくれている、ヒヨコ会員の皆様には感謝の言葉しかない。



今秋には70周年記念企画・Ⅱとして「県下最高峰・氷ノ山と鉢伏山パノラマコースへ」を予定しているが、是非多くのヒヨコ会員のご参加をお待ちしています。

.....

さて、表題の最終コースに参加頂いたのは、全員で51名。前日が大変蒸し暑い中での歩きだったので、二日続けての参加を心配していたが、多くの参加を得て有り難いことであった。



藤崎先生より地形図と歴史の解説

須磨区から垂水区に入り、さらに西区と、西神戸の新しい都市として見事に開発された此の広大な地区には山陽新幹線が地下を東西に走り、

第2 神明道路の北線や主要幹線が網の目のように張り巡らされて、徳川道の縁は全く感じられない。唯一残った高塚山は、地元の皆さんのボランティア活動によって美しく手入れがなされ、展望の良いハイキングコースとして、又、3 区民の憩いの場として緑の木々に包まれていた。



真新しい高塚山案内板



高塚山の遊歩道より北東方面を望む

そして手入れ途中の長坂山散策路（ここも徳川道の表示有）を抜け、長坂インターチェンジが見える第2 神明北線を跨ぐと未だ舗装途中の車道へ出た。しばらく行くと垂水区の一番西北となる場所から、古い民家や田畑が残った徳川道らしい風情を感じる道に出た。それも束の間で、朝霧方面へ通じている幹線道路へ出て第2 神明を跨ぐと、いよいよ明石市大蔵谷に入っていく。



途中にあった山神の祠

高塚山からは標高差約 180 メートルをゆったりと下って来たことになり、JR と山電、そして国道 2 号線が仲良く並んで東西に走っている路線を跨いでいる陸橋を渡ると、西国街道（近世山陽道）へ出た。ゴールとした徳川道西の起点前にある稲爪神社へは 12 時半に無事到着。記念の写真を撮って解散とした。



上・稲爪神社正面にて

下・日本標準時子午線がデザインされた道路



— 感謝 —

150年前、神戸開港に合わせ、外国人と諸大名の接触によるトラブル回避のためにわずか2か月余りで作られた西国往還付替道（徳川道）。目まぐるしく変わる歴史の中で翻弄されたこの道は、日の目を見ることなく幻の道となったのである。しかし、今から40年前の昭和53年、神戸市が「徳川道調査委員会」を設け細部における調査を行った結果のデータを纏めておられた資料のお陰で今回の企画を遂行することが出来たのである。改めて感謝する次第です！

天 候 晴れのち曇り

参加者 51名（内当会員39名）

担 当 例会委員会・岳連/普及委員会